

褒  
ホメモノ  
物  
ガタリ  
詰

Tsubasa Reward  
For Adult Only



木々良阿

お邪魔します

ああ  
羽川か……  
大分早かったな

妹さんたちは？

今は居ないな  
……大方正義ごっここの  
最中なんだと思うけど

彼女、羽川翼は  
猫や虎——連の怪異と決着し  
今度こそ  
『普通の女の子』になった

ん、まあ……  
私から言い出したことだし  
待たせたら悪いかなって

まあ、僕の部屋で  
恐縮だけど……

——と戦場ヶ原からは聞いている。  
多くを聞くことはできなかったが  
当時の羽川は  
かなり不安定だったらしい

ガチャッ……

そんな中、僕の受験も最後まで面倒を見てくれたのだ。そんな彼女の用事を断る理由もない。まあ、それはなくとも羽川の用を僕が断ることはないんだが

このベッドも久しぶり…あ、あの時は色々ごめん

ボフッ

気に病むことはないさあ、あの時の布類は洗濯せずに個人的に楽しんでる

僕は羽川のものであれば匂うことは勿論口に含むのも厭わないしな

んっ

特に最近はお世話になったよ追いつみの辛い時期ほど舐めるよう舐めるよう。実際に舐めた記憶もあるが僕の心の支えだったからな!

おい阿良々木

あとアシシクマンはいいから

ともあれ僕の受験がなんとかなったのは影に日向に羽川のお陰だよ…ところで用事ってなんだ?

そのことなんだけど阿良々木君…覚えてる?

ん?

受験に一発で合格できたら私がご褒美をあげましょーっていう約束のこと



えっ…あれって冗談じゃなかったのか

たじ…

ううん、本気だよあの時も言ったけど



ムキ

私の身体の柔らかいところ…全部好きにしてもいいよ、って



が、眼球を舐めるのはいかんのか？

いや、今コンタクトだし読者のにもちよつと…



…人をどこぞのフアッション変態と一緒にされては困るなア羽川さん…!!

もう名古屋コーチンがどうとか臍で茶を沸かすレベルだよな人間強度と一緒に度胸も下がっちゃったのかもねー

まあ阿良々木君チキンだしね変態なのは地の文か身内か非實在青少年の八九寺ちゃん相手だけいやチキンなのは知ってたけどね



はあ～

あーあまた阿良々木君に恥かかされちゃうんだ…体育倉庫の時も茂みに連れ込まれた時も私結構色々覚悟してたんだけどなー

おに



おっ来〜  
 ーと、いうことになったものの



ええのんか  
 って...

グキ

ほ、本当にええのんか？  
 後からやっぱり一生軽蔑します  
 とかないよな？

もう、しつこい  
 ご褒美だって言ったじゃない



や、やっぱり  
 ちよつと改まると  
 恥ずかしい…ね

もじりっ  
 。。。。



あ…いきなり乳首ばっかりっ…  
だめっ…いじめちゃっ…



じや、じやあ今度こそ  
失礼します…



微かに汗ばんで  
もつちりとした感触が…  
吸い付いてくるような



す、すげえっ…!!  
凄い柔らかさだ…  
指が沈み込むなんて



…こつちにもまだ  
柔らかい部分がある…よね？



これが…っ  
これが羽川のおっぱい…!!

…阿良々木君  
すっかりおっぱいに  
夢中だね♡

でも



胸弄つてただけなのに  
これだけトロけてるなんて…  
もしかして羽川…



あ、指、入っ…♡  
いっ…は、あ♡あ♡♡

あ、熱ッ！  
それに滅茶苦茶ヌメって  
指二本がこんなにあっさり…

ぬるっ♡



阿良々木君のも…  
ガチガチになつて…苦しそう

お、おい羽川っ…!!

ん…ふふっ♡

びゅっ♡

≡/24/24  
7/249/cv



ね、阿良々木君...  
手だけ...でいいの？

まだ柔らかい口があるんだけど...

どうする？









んっ…ぐっ  
もうダメだッ羽川ッ

イイよ…  
んっ…このまま  
出しても…



阿良々木君の…  
精子で顔ドロドロにしてもッ…  
んっ…ちゅっ

ああっ…羽川っ…  
出るっ出るっ!  
ああっあっいいい



車もグッ  
精もグッ  
出る!

ちゅっ  
ちゅっ  
ちゅっ

ちゅっ  
ちゅっ  
ちゅっ

ねちちあ…♡



それ…まだみたいだし  
最後までしちやおつか?



ぜ、全然萎えない…



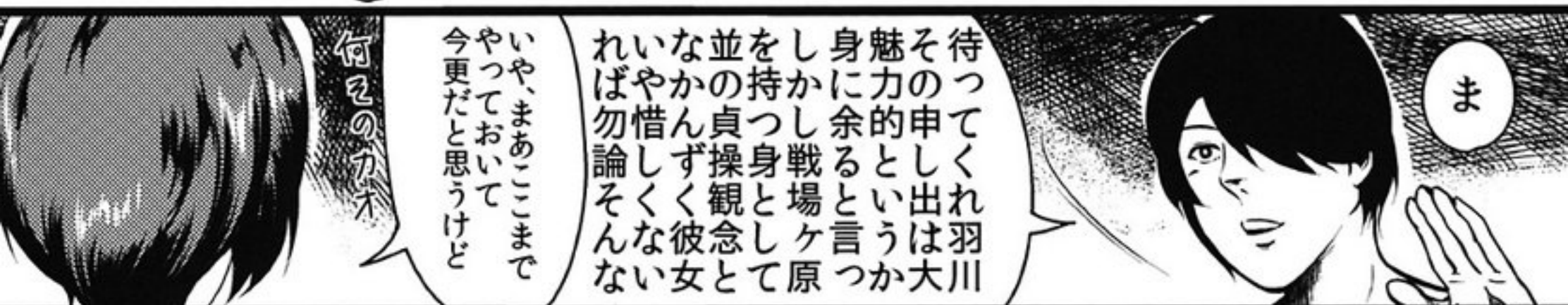
阿良々木君

…いやそれよりも  
勢いとはいえず  
とんでもないことを…



阿良々木君の精子  
熱い…けど味はよく  
分からないかな

ごめんっ!  
羽川!



ま

待つてくれ羽川  
その申し出は  
魅力的というか  
身に余ると言っ  
しかし戦場ヶ原  
を保持身として  
並の貞操観念と  
なかんずく彼女  
いや惜しくない  
れば勿論そんない

いや、まあここまで  
やっておいて  
今更だと思うけど

何そのカオ



んごめん  
ちよつと今の言い方は  
ズルかった…かな

ちゃんと言い直すから

私をー羽川翼を抱いて欲しいの

私が  
阿良々木君と  
…したい

お願いします

前の私だったら…  
このまま卒業して…  
阿良々木君のこと諦めて  
旅に出てたかもしれない…

でもッ！

でもやっぱり…  
本当はずつと…

だからッ…

羽川翼は—  
『普通の女の子』になった

お願い…

それはつまり—  
家族との不和  
それに起因する  
ストレスも

僕や周囲の人間に  
向けられていた  
嫉妬という感情も

分かったよ  
羽川

怪異として切り離さず  
自分で受け止める  
ということだ

多分、一連の事件が  
終わった後も—  
僕と勉強している間も—

だから羽川  
お前に同情したり  
は決してしない

僕はただ—  
欲情しているだけで  
この身体を使つて  
欲求不満を解消する…  
それだけだ

でも…勘違いはするなよ

お前の気持ちとは勿論  
僕の気持ちとも関係ない

それでも—



私はね、阿良々木君のそういうところが 大好きだよ





あれだけ濡れて  
ヌメってたのにッ...!  
羽川の膣内、すげえ  
キツいッ...!



えへ...  
阿良々木君のだから...かな  
思ってたより痛くない...よ

それより...いっぱい  
動いて...気持よくなって



やつぱり血が...!  
お、おい...?

ズチュ  
ズチュ



くそっ  
急に可愛く  
なりやがって!

ガッ!  
ぼっ!  
羽川ッ!



んむっ...



あはっ...キスしたらっ  
お腹の奥...熱くなって...♡

うおっ  
急に締め付けと  
愛液の量がッ...

いい...よっ...このまま射精して  
膣内射精...おまんこに...頂戴♡

射精する!!!

ずちゅっ♡ にちゅっ♡

ずちゅっ♡

ずちゅっ♡

ずちゅっ♡

ずちゅっ♡

ずちゅっ♡











羽川…自分でも  
下品な言葉を使いながら  
興奮してるのか  
さつきから肉褻が  
しゃぶりついてくるみたいだ

おちんぽが  
ビクビクツツって…  
精子出したそうに  
暴れてるんだからッ…!

なかで大つきく…  
硬く…なつてッ…



おまんこ…いいっ…  
ね、阿良々木君は…ッ  
気持ち…いい？

凄いッ…奥が…  
トロけちゃうてる…  
ぐちゅぐちゅひどい音  
立てちゃうてるッ



さつきまで処女だったクセに  
早速チンマン言いながら  
ガンガン腰振つてッ!

…ッ このっ!  
いいに決まってるだろ!  
こんなに入り口まで  
グズグズにしてっ



このエロ乳ツ！エロ穴がつ！  
こんな身体を僕に抱かれるまで  
持て余してたのかツ？

あ、阿良々木君にハメて…  
ハメてもらったためだけに  
こんないやらしい体だけに  
頑張つて育て…ましたツ

阿良々木君のちんぽで…  
いっぱいおまんこ愛されてツ♡  
グチャグチャにかき回されて…♡

精液と本気汁で白濁して泡立って…  
もう出るっ出したッ！  
羽川の…奥に射精したいッ！

も…ダメ…  
私…おかしくなるッ  
何か…来るっ♡いくッ♡



限界だツ羽川ツ！  
またイク！  
このまま膈内で射精すぞツ！



いいよっ…このまま膈内で  
でも…ね、最後名前で…ッ  
呼んで…

「私の名前」で…  
つばさ…って…  
お願いッ！





イツ…ちやつた…  
おまん…♡



四回目なのに  
こんなに…  
あっ出ちやう

ごごめん…  
僕あんまり余裕なくて…  
初めてだったのにこんな

…もう、私からお願ひしたのに  
謝らないで欲しいなあ



んっ…♡

…あ♡

あ…ごめん、忘れてた

ん？

阿良々木君  
合格おめでとう！

…今更かよ





## ■掉尾に寄せて

はじめまして、この度はお買い上げ頂き誠にありがとうございます。  
漫画の執筆、同人誌の制作共に初めてで、かなりの試行錯誤を重ねた記憶があります。  
先ずは制作に協力して下さいました皆さんにこの場を借りてお礼を申し上げます。

大分乙女チックな側面を強調してしまったきらいはありますが  
物語シリーズの中では一番好きなキャラなので、なんとか形にできて一安心です。  
偽物語のアニメ化を契機に、そちらのネタを中心に描いていきました。  
傷物語でも十分嬉しいのですが、セカンドシーズンも是非映像化して欲しいですね。

基本的にどのキャラも魅力的な物語シリーズですが、羽川さんはまた別格です。  
彼女について語ろうと思ったら論考の一本ぐらい書けそうな気はしますが  
紙幅の都合上、割愛せざるを得ないことが残念でなりません。  
特に猫物語(白)については大変面白く拝読させて頂きました。  
甘酸っぱい秘恋の物語として。  
第一次集団への参加に失敗した人間が、他者を通じて親密圏を形成し  
逆説的な形でパーソナリティを獲得していく Resocialization の物語として。  
近代以降の無自覚でグロテスクな家族観の物語として。

まあ、ダラダラと冗漫に書き連ねていますが  
阿良々木君の前ではいつまでも未練がましく、情けなく、だらしなく  
そんな羽川さんでいて欲しいという願望(妄執)も込めて描きました。  
「バサ姉はそんなこと言わない！」とか怒られそうな気もしないではないですが  
楽しんで頂ければ幸いです。

それではまた、お目にかかる機会があれば  
その時は是非よろしくお願いします。

文責：bottomline

『褒物語』

発行：Ink Complex

著者：bottomline

印刷所：B.H.Press

発行月：2012/02

mail：bottomline.enlight@gmail.com

無断転載・無断複製及び  
18歳未満の閲覧を禁止します



今回の作品はT-GATE(同人堂)モバイルサイト  
「デジコミ.jp(http://digi-comi.jp/web)」にて  
発行日より週間程度で配信されます。

PRESENTED BY

*Ink Complex*

